

野外運動研究室ニュースレター

編集：筑波大学野外運動研究室広報係

発行：筑波大学体育科学系野外運動研究室

〒305-0013 つくば市天王台 1-1-1

TEL/FAX 029-853-2729

<巻頭言>

災害と復興のさなかで・・・着任。

渡邊 仁

2011年3月11日に起きた東日本大震災の被災者の方々に、衷心よりお見舞い申し上げます。野外教育の理念を学んだ私たちに、今何ができるかをよく考えて、そして行動し、復興に向けての力添えをしていきたいと思います。ボランタリズムや義援金寄付などの行動と共に、省エネのためのエコロジーな生活実践や啓発活動、face to faceの生活スタイルの再認識などは、私たちが率先して社会に働きかけていきたいと感じています。とりわけ身近な研究室内での実践が大切だと思います。

さて、この社会的な動搖の中、この春、私は野外運動方法論領域の教員に着任しました。以前、本研究室の準研究員(10代目)をしていましたが、その退職後4年半の歳月が流れています。その間、学群棟・学系棟の改築があったようですが、先日の地震の学内被害も甚大であり、私が知っているようでも知らない場所になっていました。またインフラ面だけでなく、時間を共有した野外の教員・準研究員の先生方がご退職されたことも影響しているのかもしれません。

このような変革期と社会的混乱の中で、私自身も期待と不安が錯綜しています。しかし、日本の風土が持つ「無常」の自然観のように、とどまることのない変化の中に、新たな美しさ(価値)を見出していくたいと思います。そして、新しい価値の創出には、多様性(diversity)が必要不可欠です。4名の教員の価値観のみならず、学生一人ひとりも尊厳(dignity)あるものとして、互いの価値観を尊重(respect)していくたいと考えています。各々が、常に外界に敏感になって、豊かな

経験に根ざした価値観をしっかりと持ってほしいと願います。そして、私個人としても、研究室としても、価値の多様性の中から、新たな地平に向かっていきたいと思います。

<研究室関連授業(1学期)／研究室連絡>

○学群関連科目

- 野外運動方法論演習I(キャンプ)木曜4、5限
および集中(7月下旬)

○大学院関連科目

- 野外教育・スポーツ実習I(キャンプ)1、2学期集中
- 野外教育・スポーツ実習II(水辺)1、2学期集中
- 野外教育・スポーツ指導実習I(キャンプ)1、2学期集中
- 野外教育・スポーツ指導実習II(水辺)1、2学期集中(6/24~27)

○その他

- 第1回卒業論文中間報告会(5/12)
- 第2回室会(6/20)
- 第2回卒業論文中間発表会(6/30)

<野外運動研究室新専攻生紹介>

○学群生

・鵜木優輝／野球部

こんにちは。今回新たに野外研に入ることになった鵜木です。出身地は鹿児島県です。スポーツ全般は得意なつもりですが、ウインタースポーツの経験がないのでかなりやってみたいです。今回、僕が野外研に入った動機は、まず将来目指してい

るのが、体育教師か消防士であるためです。そのために、より多く自然と触れあつたり、実践的なスキルを身につけていきたいと考えたからです。また、ただ単純に体を動かして楽しみたいとも思っていたからです。なので、この研究室に入ったからにはそれを最大限に利用して、さまざまにチャレンジしていきたいです。そして、その経験をより多く、濃く身につけ後々に活かしていきたいと思います。これからよろしくお願ひします。

・福塚賢一／ライフセービング部

はじめまして。体育専門学群新3年の福塚賢一と申します。幼い時から野外に親しみ、これからも長く野外と向き合っていきたいと思ったので、この研究室に入らせていただきました。高校まではサッカーをし、現在はライフセービング部に所属しています。多々至らない点があると思いますので、今後の厳しいご指導の程よろしくお願ひいたします。

・山川晃／蹴球部

はじめまして、野外運動方法論研究室3年生の山川晃です。出身は新潟県で、蹴球部に所属しています。野外研に入りたいと思ったのは、スキーやキャンプなどのアウトドアスポーツが好きで、本気で勉強してみたかったです。先日の野生の森整備実習から野外研究室生として本格的に活動を始めたばかりですが、野外研の雰囲気はとても気に入っています。全力ではしゃいだり悔しがったりしながら、自分の活動できるフィールドをどんどん広げていきたいです。よろしくお願ひします！

○大学院生

・久米あゆみ(筑波大学生物資源学類卒)

「野外をやりたい！」の想いだけで飛び込みました。これからの2年間、後悔のないようにできるだけ多くのことを学び身についていきた

いと思います。知識や経験もまだ浅く頼りない院生ですが、皆様と共に過ごし学んでいければと思います。よろしくお願ひします。

・清水啓一(奈良教育大学卒)

新M1の清水啓一です。整備実習でも実感させられたのですが、これからたびたび皆さんにご迷惑をおかけしていくことだと思います。それでもめげずに頑張ろうと思いますのでどうぞよろしくお願ひします！！

・日比野功宜(筑波大学体育専門学群卒)

整備実習お疲れさまでした。新M1の日比野功宜(ひびのあつなり)です。これからキャンプネームは麻縄(あさなわ)でいきたいと思います。研究室員全員が笑顔で一年を終えられるように僕自身も今まで以上に頑張っていきますので、よろしくお願ひします。



<授業関連報告>

○共通体育「スノースポーツ」

日比野功宜(MC 1)

3月9日(水)から3月13日(日)にかけて、新潟県湯沢町岩原スキー場で共通体育「スノースポーツ」が行われた。参加者は昨年に比べ少し参加人数が減ってしまったが、スキー、スノーボード共に3班編成で講習が行われた。野外運動研究室からは補助員として、江越、日比野、矢田が参加した。

今回の実習では、実習中に東日本大震災に見舞われた。地震発生当時は、ゲレンデのリフトも止まり、地震があったことには気づいたが、どのような状況にあるのか分らなかった。後に様々な情報が先生方から入ってきて、事の重大さを知ることになった。幸いなことに実習の参加者、スタッフには震災による怪我もなく、無事実習を終えることが出来た。

実習中に震災という大きな出来事が重なってしまったが、実習自体は順調に進み、参加者の技

術も目に見えるように向上し、皆、満足していたように思えた。個人的にはスタッフとして参加したことで、他大学の先生方や準研究員の方々との交流も図れ、非常に中身の濃い実習になったと思う。来年度は今年以上に参加者を確保して実習に参加したい。

○2011年度整備実習

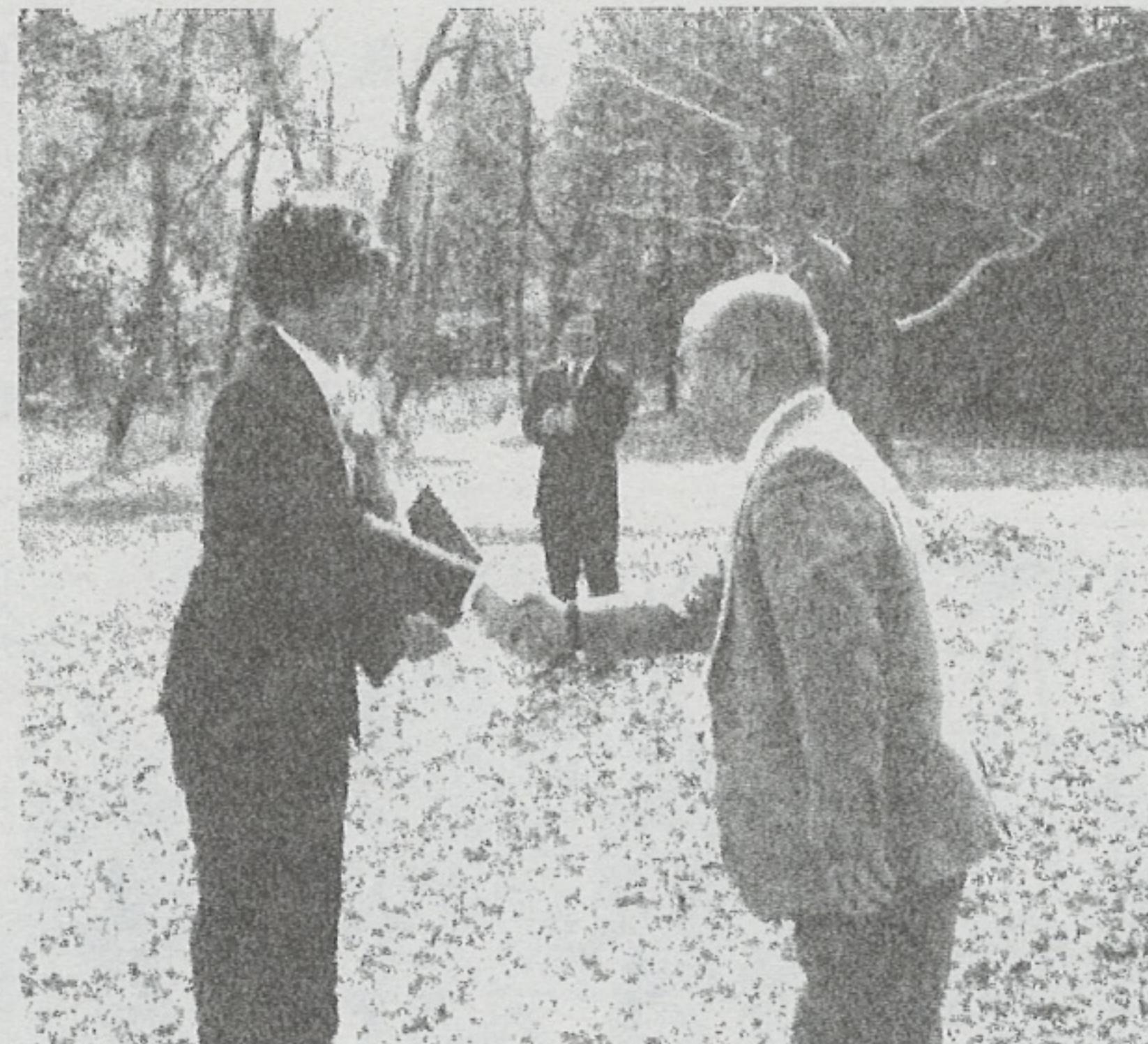
久米あゆみ(MC 1)

平成23年4月4日(月)
～6日(水)にかけて整備実習が行われた。この実習の目的は、野性の森にある施設・用具等の点検、補修、数量チェックを行うこと、用具の名称、使い方、メンテナンス方法を覚えること、そして室員同士のコミュニケーションを図ることである。

作業は3つのグループに分かれてエレメントの補修や備品チェックなどを行った。経験のある人から全くない人まで多くの人が参加したが、それぞれに知識を深めたりお互いに教えあつたりするなど実りある時間になった。

本年度は周知の通り室員構成に大きな変化が見られ、誰もが少なからず不安を抱えて臨んだ実習だったのではないかと思う。そんな状況の中、初日から麻縄が足りなくなるなど多少のハプニングはあったが、当初予定していた作業を通りに実習を終わらせることが出来た。それは参加者が「いま、自分に何ができるか。」をそれぞれ考え積極的に動いたからだと思う。

2011年度の野外研がスタートした。この実習を通しての経験や感じた思いを胸に、これからも各自が様々な知識・経験を持ち寄って融合させ、伝統ある野外研の新たな1ページを刻んでいきたい。



<課外活動関連報告>

○新専攻生歓迎会

岩谷優志(UG 4)

4月6日(水)に野性の森にて、野外運動研究室新専攻生歓迎会を行なった。3日間の整備実習最終日に行われたこともあり、新専攻生は研究室に十分馴染んでいる印象を受けた。

また、昨年度行われた論文発表会懇親会での反省を活かし、歓談時間を多く取れるよう企画したが、準備計画が不十分で当初の予定より遅れての

スタートとなってしまった。また、当日に追加食材を買ひ込むことになってしまったり、器具が不調で調理がうまくいかなかったりと、ドタバタしてしまった感は否定できない。

一方で整備実習中に誕生日を迎えた辻野にサプライズバースデーを企画するなど、印象に残る歓迎会にできたのではないかと思う。

○野外運動研究室卒業・修了式

大竹崇(UG 4)

平成23年3月25日、野外運動研究室の野外運動研究室による野外運動研究室のための卒業・修了式が行われた。出席した卒業・修了生は、佐藤、谷河、日比野、矢田、志賀、林、江越の計7名である(原も参加予定だったが…). 式では吉田先生からの卒業・修了証書の授与が行われ、受け取った学生からはこれまで支えてくれた人への感謝の気持ちと今後の新しい世界への期待や不安の表情が見受けられた。

また、志賀・岡田の2名による来年度の進路報告も行われ、この野外運動研究室から卒業・修了生を含め多くの人が旅立って行くこととなった。今年度からはメンバーも一新し、若い力でこの研究室を支えていかなければならない。期待よりも不安の方が大きいかもしれないが、卒業・修了生が残していく知識と経験を引き継ぎよりよい研究室にしていくことが残された私達の使命だと感じている。最後になりましたが、卒業・修了された皆様、本当におめでとうございました。

<課外活動関連告知>

○日本登山医学会学術集会

期日：2011年6月11・12日

場所：国立オリンピック記念青少年センター

○日本野外教育学会大会

期日：2011年6月17日(金)～19日(日)

場所：筑波大学

※延期

○日本環境教育学会第22回大会

期日：2011年7月16日(土)～18日(月)

場所：青森大学

○キャンプインストラクター養成講習会日程

場所：東京都

日程：2011年4月29日(日)

5月28日(土), 29日(日)

11月5日(土), 6日(日)

問合せ：あばれんぼキャンプ事務局
042-202-0881

詳細：

<http://www.camping.or.jp/1104tokyoCI.pdf>

○東日本大震災緊急青年ボランティアミーティング　—いま、若者にできること—

日時：2011年4月16日(土) 10:00-17:00

*部分参加可

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター・国際交流棟1F レセプションホール

対象：災害ボランティアに興味がある方

参加費：無料 ※宿泊も無料

主催：独立行政法人 国立青少年教育振興機構

<スタッフ・参加者募集>

○第14回全国バリアフリーダイビング大会

期日：2011年6月23日(木)～26日(日)

場所：沖縄県那覇市

内容：あらゆる種類の障がい者が全国から約40名参加してSCUBAダイビングに挑戦します。それを支えるボランティアを約80名全国から募集し

ています。ダイビング経験豊かな人は水中でのサポートをします。ダイビング経験がなくても陸上でサポートを担当します。バリアフリーとノーマライゼーションそしてボランティアについて、理論だけでなく実際場面から理解できる機会です。

主催：NPO法人 日本バリアフリーダイビング協会

○授業補助 実技理論・実習Ⅰ(野外運動)

・ASE

水曜2年男子 4月20日(水) 1・2限

金曜2年女子 4月22日(金) 1・2限

・デイキャンプ

水曜2年男子 5月25日(水)～翌朝

金曜2年女子 6月1日(水)～翌朝



○藤村学園キャンプ指導

日程：2011年7月4日(月)～8日(金)

場所：八ヶ岳校舎実習場

生徒：72名

募集：カウンセラー8～10名

指導：野外運動研究室

<編集後記>

昨年度の一年間を振り返ってみると、本当にいろんなことがあった一年だった。私個人はもちろんのこと、研究室も野外運動にとっても様々な変化のあった一年だったように思う。この変化を弾みにして、一年間を過ごしていきたいと強く感じている。

梶田歩(UG 4)